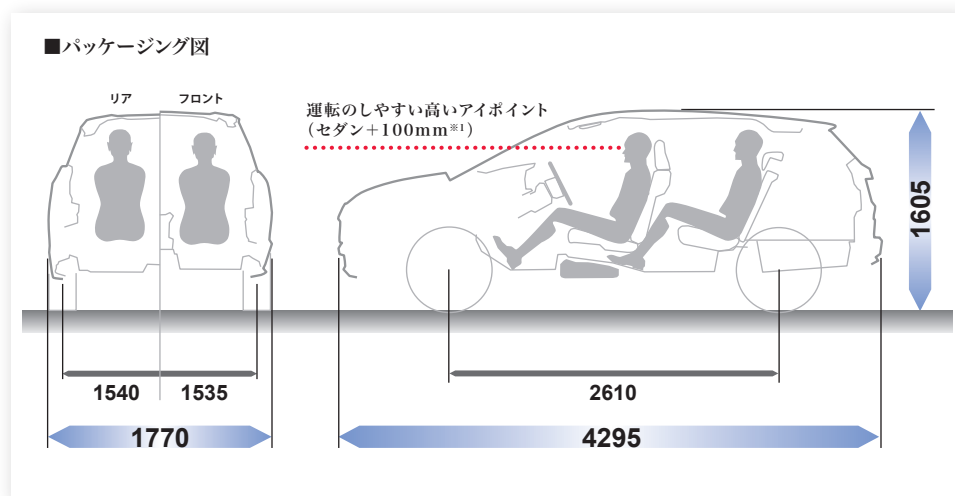


取り回しのよいボディサイズに、 広さと使いやすさを凝縮した、スマートパッケージ。

「Smart Cross Package」をコンセプトに、取り回しのよいボディサイズとしながら、ミニバン並のリア席ひざまわり空間を実現。見晴らしのよさや乗り降りのしやすさも追求しました。

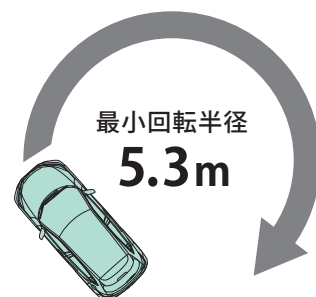


※1 一般的なセダンとの比較。Honda調べ。

● 単位=mm 数値はすべてHonda測定値。

都市の細街路でも扱いやすい最小回転半径5.3m

上級SUV同等のホイールベースとしながら、エンジンなどのメカニズムをコンパクトに設計することで十分なタイヤ切れ角を確保し、都市の細街路や、駐車場、交差点でも扱いやすい、最小回転半径5.3mを実現しました。



ミニバン並のリア席ひざまわり空間

全長を取り回しのよい4,295mmとしながら、センタータンクレイアウトによってリア席の後方配置を実現。ミニバン並のリア席ひざまわり空間としました。



見晴らしがよく、ワイドで爽快な視界

空力や走行性能の観点から全高を抑えながら、見晴らしがよく安心感がある絶妙なアイポイント高さ（一般的セダンに対しプラス100mm※2）に設定。また、フロントビラーの幅と角度を最適化することで広い視野角を確保しました。



※2 Honda調べ。

乗り降りしやすいヒップポイント地上高

人間工学研究によって体格ごとの乗降性を検証。さまざまな体格の方が、腰の上下移動が少なく乗り降りしやすいと感じられるヒップポイント地上高に設定しました。

